

(公社)日本口腔インプラント学会の発展にご尽力されてこられた諸先輩方、そして日頃より学会活動を支えてくださっている会員の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

本学会は、口腔インプラント学の発展と普及を通じて、国民の口腔健康の維持・向上に大きく貢献してまいりました。理事長として先人の先生方が築き上げてこられた学術的基盤と社会的信頼を受け継ぎ、そのさらなる発展に尽力できることを大変光栄に感じるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

近年、わが国では超高齢社会が進展し、口腔インプラント治療を取り巻く環境も大きく変化しています。全身疾患やフレイルを有する患者への対応、長期的な口腔機能管理、医科歯科連携の推進など、本学会に求められる役割はますます多様化・高度化しています。また、デジタル技術やAIなどの新たな技術革新は、インプラント治療の可能性を大きく広げる一方で、常に最新の知見に基づいた適切な評価と活用が求められています。このような時代だからこそ、本学会は、学術団体としてエビデンスを創出・発信し、安全で質の高い医療を社会に提供していく使命がございます。標榜可能な専門医の取得に向けての取り組みは、会員の先生方のご支援で日本歯科専門医機構との交渉も大詰めを迎えています。一方で、顎顔面インプラント学会との協働が機構から求められていますので、両学会合同の専門医試験の実施に向けて、実際の専門医取得のための認定条件も整備しなくてはなりません。これまで多くの先輩方のご苦勞により、ここまで導いていただいたわけですから、専門医の問題は是非とも今期に達成する覚悟で臨みたいと考えております。

歯科医師だけでなく専門歯科衛生士や専門歯科技工士の会員に対して、研修制度や教育プログラムの充実を図り、専門知識と高度な臨床能力を備えた人材の育成を支援してまいります。会員向けのサービスは廻り回って患者様に行き着きます。インプラント治療を受けた事による悩み、不信感や疑問を持つ患者様から今も毎週のように学会事務局に問い合わせがございます。この事実からインプラント治療によって被害を受けたと自覚している患者様が一定数いらっしゃるということに注目しています。会員の先生と患者様の双方に対して、コンプライアンスを含む教育研修活動や情報提供の充実に対して、学会がさらに寄与していく必要があります。それらを通じて行政に対しても情報提供していくことが重要であると考えています。インプラント治療に対する社会的関心が高まる中、正確でわかりやすい情報を発信し、国民の理解と信頼を深めることが重要です。インプラント治療が国民の健康と福祉にさらに貢献し、社会からより一層信頼される学問・医療分野として発展するよう、誠心誠意努める所存です。会員の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2026 年 6 月

公益社団法人日本口腔インプラント学会

理事長 馬場 俊輔